

街乗りスマート・コンパクト

新型パッソ誕生

ゆとりある室内空間と取り回しのよさ

フルモデルチェンジを受けて登場した新しいパッソのコンセプトは「街乗りスマート・コンパクト」。取り回しの楽なスモールボディはそのままに、室内は一段と広くなり、乗り心地や走りの性能も進化。毎日運転してどこかへ出かけたくなるコンパクトカーに生まれ変わった。改良されたプラットフォームは軽快な走りを約束してくれるとともに高い安全性も確保し、一新されたパワートレインによりガソリン登録車トップの低燃費を実現。シンプルで親しみやすいXグレードに加え、スマートで上品な装いの新グレード「パッソMODA」もラインナップされ、ボディカラーも充実して選ぶ楽しみも倍増。より多くの人に愛されるコンパクトカーへと進化した新型パッソの魅力は尽きない。

フラットな乗り心地と安心の走り



2WDはガソリンエンジン登録車トップの低燃費 **28.0km/ℓ**

文／田畑修(モータージャーナリスト) 写真／トヨタ自動車



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351 代表

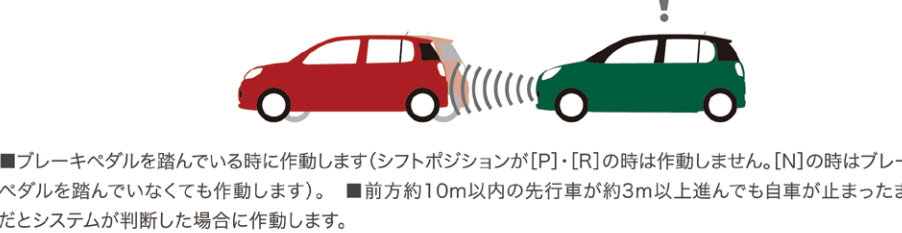


安全ボディと衝突回避支援システム

衝突回避支援ブレーキ機能(対車両)



先行車発信お知らせ機能



改良されたプラットフォームと剛性を高めたボディ、さらに衝撃吸収性能に優れた衝突安全ボディにより高い衝突安全性を実現。万一の衝突時にも生存空間を確保し、さらにサイドエアバッグやカーテンシールドエアバッグも備えたセーフティパック装着車はクラス最高ランクの安全性を誇っている。また、カメラとレーザーレーダー、ソナーセンサーを用いた衝突回避支援システム(スマートアシストII)を小型車として初採用。先進安全機能として注目されている衝突回避支援ブレーキ機構と衝突警報機能に加え、車線からはみ出しを知らせる車線逸脱警報機能、アクセルとブレーキの踏み間違いを判定する誤発進抑制制御機能などを備え、ドライバーの安全運転を常にサポートしてくれる。

主要諸元表

駆動方式		2WD								4WD							
		"G package"	"L package-S"	"L package"	"S"	X	"G package"	"S"	MODA	"G package"	"L package-S"	"L package"	"S"	X	"G package"	"S"	MODA
グレード		3,650				3,660				3,650				3,660			
全長 (mm)		1,665×1,525															
全幅 × 全高 (mm)		1,975×1,420×1,270															
ホイールベース (mm)		2,490															
トレッド	(前 mm)	1,465															
	(後 mm)	1,475								1,445							
最低地上高 (mm)		150															
車両重量 (kg)		910								960							
JC08 モード燃料消費率 (km / ℓ)		28.0								24.4							
最小回転半径 (m)		4.6															
乗車定員 (名)		5															
エンジン型式		1KR - FE															
種類		直列 3 気筒 DOHC															
総排気量 (cc)		996															
最高出力 (kW<PS>/rpm)		51<69>/6,000															
最大トルク (N・m<kg・m>/rpm)		92<9.4>/4,400															
使用燃料 / タンク容量 (ℓ)		無鉛レギュラーガソリン / 36								無鉛レギュラーガソリン / 38							
トランスミッション		C V T															
ステアリング形式		ラック & ピニオン															
ブレーキ形式 前 / 後		ベンチレーテッドディスク / リーディングトレーリング式ドラム															
サスペンション	前	マクファーソンストラット式コイルスプリング															
	後	トーションビーム式コイルスプリング								トレーリングリンク車軸式コイルスプリング							
タイヤ		165/65R14															

燃料消費率は、定められた試験条件での値です。使用環境(気象、渋滞等)や運転方法に応じて異なります。詳しくは販売店におたずねください。

誤発進抑制制御機能



車線逸脱警報機能



個性を極めるアクセサリ

新型パッソをより精悍に、あるいは一段と小粋に仕上げられるエクステリアパーツも用意されている。フロントとリアのロアスカート、サイドのストーンガードといったエアロパーツに加え、フロントスタイルを引き締めるフロントグリル、チェッカーデザインフードストライプやクォーターピラー用のデカールなども設定。自分だけのパッソを作り上げることができる。



フードストライプ(チェッカー)とリアクォーターデカール(チェッカー)



フードストライプ(ライン)とリアクォーターデカール(ライン)



2つの選べるエクステリアデザイン(パッソとパッソモーダ)



低重心を感じさせる台形シルエットや、タイヤを四隅に配置したショートオーバーハングスタイルが安定感を醸し出す新型パッソ。ボディサイズ以上の存在感を感じさせる半面、コンパクトカーならではの親しみやすさも備えている。そして今回のフルモデルチェンジにもなって一段と上質感を高めたパッソMODA(モーダ)も設定。専用のフロントグリルとヘッドライトがパーソナル感を高め、ルーフをブラックとした2トーンカラー仕様も設定される。パッソ、パッソMODAともに華やかなマゼンタベリーマイカメタリックやレモンスカッシュクリスタルメタリックなど鮮やかなボディカラーも新たに用意され、自分なりのコーディネートを楽しむこともできる。



Bi-Beam LED ヘッドランプ (左) と LED ヘッドランプ



オブティロンメーター (MODA)



単眼アナログメーター (X)

静粛性、快適性の向上

日常をともに過ごすコンパクトカーだからこそ静粛性や快適性も重要なファクターとなる。そこも新型パッソは抜かりなく、騒音の源となるラジエーターファンやエアコンの構造を見直し、排気マフラーのセンター配置によりこもり音を低減。さらに各部の強度アップなどにより振動の発生を抑え、吸音材を適正配置して騒音の室内流入も阻止。多面的な対策により静粛性を高めている。特に走り出しから一般路走行域での振動と騒音を低減し、日常走行での快適性を高めている。

インテリアデザイン

コンパクトカーのレベルを超えた広い室内を実現した新型パッソだが、インテリアの仕上げのよさやデザインセンスにも注目したい。水平基調のダッシュボードは左右にレジスタリングを備えた丸形の吹き出し口を配し、シンプルながらアクセントの効いたデザインとなっている。明るく落ち着いたグレートーンのシートカラーもいい。一方でパッソMODAはダークグレーを基調としながら、各所に際立つアクセントカラーを配して上質感を演出。シートもレッドとベージュを配してコントラスト感のあるデザインとし、乗り込むのが楽しくなる雰囲気だ。起毛させたシート表皮は肌触りもよく、クオリティの高さを実感させてくれる。



ワンタッチターンシグナル機能付き方向指示スイッチ

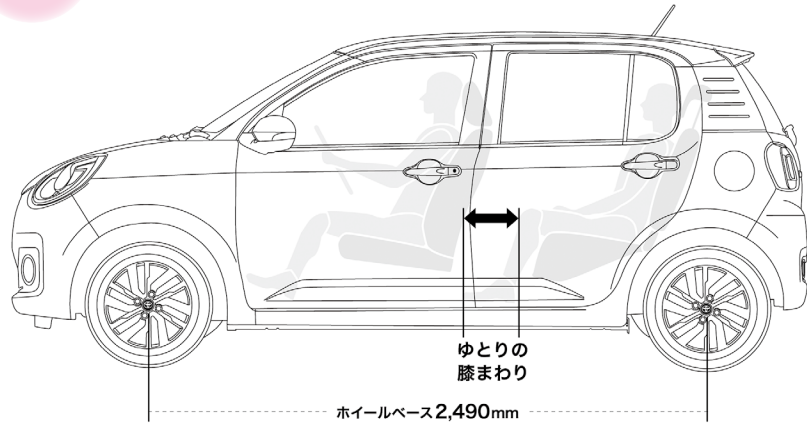


UVカットで快適な室内空間を実現 (タイプ別設定)

ガソリン登録車でトップの低燃費を実現

新型パッソに搭載される1KR-FE型エンジンは、1ℓの排気量を存分に生かすべく圧縮比を12.5まで高め、デュアルポートとデュアルインジェクターの採用、エンジン内部に摩擦損失の低減など先進テクノロジーの投入により効率を一段とアップ。その結果、今まで以上の加速性能やレスポンスのよさを確保しながらもガソリンエンジン登録車トップの28.0km/ℓ (JC08モード値・2WD車)を実現。組み合わせられるCVTもエンジンとの統合制御により、たとえば坂道では負荷の増加を判断して駆動力を高めるなど、ストレスのない走りをサポートしてくれる。一方で視界や取り回し性などを向上させるため、空力面では不利とされる水平基調のスタイルを採用しながら、うまく空気抵抗を抑えたボディ回りにも注目したい。バンパーやリアコンビネーションランプ、ドアミラー、ワイパーに至るまで空力を考慮して形状などを吟味。燃費向上に貢献している点も見逃せない。

クラストップの室内空間



ゆとりの膝まわり

ホイールベース2,490mm

サスペンション改良による街乗り性能と新シート構造



ハイクオリティのパッソ MODA

プラットフォームの改良、ボディの剛性アップなどクルマの「土台」をしっかり作りこむと同時に、それを生かすサスペンションにも最適なチューニングが施されている。フロントとリアにスタビライザーを装備して不要なロールを抑制し(2WD車)、フロントのショックアブソーバーは大径シリンダーおよび大径ロッドの採用により操縦安定性と乗り心地を高いレベルで両立。乗員の頭部のふらつきを抑えるセッティングにより、疲労を軽減するとともに加減速時やコーナリング時の安心感も高めている。また、乗る人が身をゆだねるシートもフレームやパッド構造を見直し、ホールド性やフィット感はもちろん適正な姿勢を保てるように支持圧を考慮して設計。快適な移動を約束してくれる。



使いやすさと広さを表現した

軽量高剛性ボディと樹脂化技術の採用



長尺物もラクラクのシートアレンジ

プラットフォームの大幅な改良に加え、高張力鋼板の効果的な採用や、樹脂パーツの採用などにより剛性アップと軽量化を両立。要となるアンダーボディは補強により剛性を高め、ボディを形作るサイドアウトパネルは厚みのある高張力鋼板を使って軽量化を図りながらも衝突に耐える強度を維持している。こうして「鉄」を最大限に有効活用して高い剛性を確保する一方で、フロントフェンダー、スポイラー一体のバックドア、フューエルリッドなどに樹脂パーツを採用して軽量化。さらに容量36ℓ(2WD車)の燃料タンクも軽量の樹脂製とし、肉厚を均一化したダイヤモンドビード成形により高い剛性と耐衝撃性も確保。隅々まで目を配ることで丈夫で軽い車体を作りあげている。



車内俯瞰図

Engineer's Voice

開発者の声

ダイハツ工業
技術本部製品企画部
エグゼクティブ
チーフエンジニア (ECE)
正木 淳生さん



国内のお客様の声に耳を傾け、当社が培ってきたノウハウを小型車に展開することで、コンパクトカーをもっといいクルマにしたいと開発しました。まず室内の広さを感じていただきたい。全長、全幅は従来のサイズを維持しながら、前席と後席の乗員間距離を75mm拡大、コンパクト2ボックス最長としました。試乗いただければ、室内空間とともに、フラットな乗り心地や安心感ある操縦安定性を感じいただけるものと思っています。これまでのように燃費のよさに加えて、お求めやすい価格、パッケージング、クルマの基本性能のバランスが取れたスマート・コンパクトとしてお薦めします。

